

ATHLETE

アスリート

日本を代表する
元スピードスケート選手

清水 宏保

(しみず ひろやす)



Speed skating

Qスピードスケートを始めたきっかけは何ですか？
(スポーツ少年団入団のきっかけ)
小児(しょうに)喘息(ぜんそく)だったこともあり喘息(ぜんそく)を治すためと、虚弱(じやくじやく)体質(たいしつ)だったので体質改善のためにスピードスケートを始めました。

Qスピードスケート競技での(スポーツ少年団での)思い出はありますか？
学校以外の友達との交流が楽しく、またスケート以外のイベント(バーベキューやスキーなどの納会)が楽しかったです。学校以外のコミュニティは思春期の自分にあって良かったと思います。スポーツ少年団時代の友人は今でも一緒に食事をしたりしています。

Qオリンピックとは？また、思い出は？
自分自身の人生における経験値(けいけんち)をあげてくれ、価値観(かちかん)を変えてくれました。一度出場したらまたオリンピックという舞台に戻りたくなくなるくらい輝(く)になります。思い出はライバルから感動(かんと)をもらい、自分自身のレースにも感動(かんと)できたことです。感動(かんと)の連鎖(れんさ)を感じました。



Hiroyasu Shimizu

各種案内

平成28年度北海道スポーツ少年団登録状況

年度	市町村数	団数	団員数	指導者数	
				単位数	役員数
27年度	172	2,042	40,728	9,303	793
28年度	173	1,997	39,637	9,206	821
増減	1	△45	△1,091	△97	28

平成28年度の登録数が確定いたしました。平成28年度より秩父別町が登録したことにより、173市町村の登録となりました。団数・団員数は年々減少しており、今年度は単位数指導者数についても昨年度より97名減となりました。役員指導者数は28名増となりました。

また、平成29年度よりスポーツ少年団登録規程施行細則が下記抜粋のとおり改正となりました。

スポーツ少年団登録規程施行細則 (抜粋)
第2条 1. 団員は、登録する年の4月1日現在満3歳以上とする。ただし満3歳以上小学生未満の者については、**単位スポーツ少年団の活動内容・受入体制や当該者の体力・運動能力等を充分に考慮し、個別に対応するものとする。**

日本スポーツ少年団顕彰

日本スポーツ少年団顕彰要綱に基づき、10年以上にわたりスポーツ少年団の発展に貢献し、特に顕著な功績のある市区町村スポーツ少年団と、10年以上にわたりスポーツ少年団の指導・育成に貢献し、特に顕著な功績のある登録指導者、並びに退任指導者に対し顕彰されるもので、平成29年度は右記の8名の方が受賞されました。

氏名	所属少年団
小澤 登志郎	室蘭尚武館剣道スポーツ少年団(室蘭市)
黒田 紀夫	北光ジュニアイーグルススポーツ少年団(札幌市)
今野 芳一	末広北ミッキーズ野球スポーツ少年団(旭川市)
田谷 行雄	剣志会剣道スポーツ少年団(苫小牧市)
藤原 照子	すすらん剣道スポーツ少年団(旭川市)
福土 志津男	対雁サッカースポーツ少年団(江別市)
牧 由美子	恵庭卓球スポーツ少年団(恵庭市)
山岸 正弘	桑園少年剣道クラブスポーツ少年団(札幌市)

北海道スポーツ少年団表彰

みなさんの少年団に長年にわたり指導してくれている先生やコーチはいませんか？または、大会で入賞するなど顕著な功績を残したり、地域の中で奉仕活動している単位数団はありませんか？
そんな指導者や単位数に対して、私たち北海道スポーツ少年団は表彰を行っています。**北海道スポーツ少年団の登録が10年を経過している指導者(有資格者)や単位数団**であれば表彰の対象になりますので、心当たりのある指導者や単位数団がありましたら、自薦・他薦に関わらずお住まいの管内スポーツ少年団協議会事務局までご連絡をお願いします。
*10年の経過とは、平成19年度以前から登録をしている単位数及び指導者のことを指します。

【推薦書提出期限：平成29年7月31日(月)】 締切後の受付は北海道スポーツ少年団までご相談ください。

事務局紹介

●公益財団法人北海道体育協会 生涯スポーツ課 / 北海道スポーツ少年団 (TEL: 011-820-1706 / FAX: 011-833-0705)
◇課長 有田 晃一 ◇課長補佐 小杉 英俊
◇主任 小松 洋介 ◇主事 中村 彩香
◇クラブアドバイザー 久保田 智

●北海道スポーツ少年団 広報普及部会
◇部会長 秋野 優 ◇副部会長 小林 則幸
◇部会員 斎藤 文男 森野 志保 越谷 邦子
肥田 麻衣 大高 貴由樹

●あなたのお住まいの管内スポーツ少年団協議会の連絡先

石狩管内スポーツ少年団連絡協議会(当別町)	(0133)-22-3834
渡島管内スポーツ少年団協議会(函館市)	(0138)-50-3283
樺太管内スポーツ少年団連絡協議会(乙部町)	(0139)-62-2253
後志管内スポーツ少年団本部(横内町)	(0135)-44-3260
空知管内スポーツ少年団連絡協議会(美瑛市)	(0126)-64-4522
上川管内スポーツ少年団連絡協議会(旭川市)	(0166)-51-4545
留萌管内スポーツ少年団連絡協議会(留萌市)	(0164)-42-2300
宗谷管内スポーツ少年団連絡協議会(雄内町)	(0162)-28-1111
網走管内スポーツ少年団協議会(北見市)	(0157)-23-3131
胆振管内スポーツ少年団協議会(釧路市)	(0143)-85-5552
日高管内スポーツ少年団協議会(日高町)	(01456)-2-6789
十勝管内スポーツ少年団本部(帯広市)	(0155)-22-8090
釧路管内スポーツ少年団連絡協議会(釧路市)	(0154)-31-2600
根室管内スポーツ少年団協議会(根室町)	(0153)-82-3112
札幌市スポーツ少年団(札幌市)	(011)-511-7787

セコマは北海道スポーツ少年団の皆さんを応援します。

株式会社セコマは北海道スポーツ少年団様の活動を応援しています。年間の活動をまとめた広報誌(本誌)を全道のスポーツ少年団全員に配布するための支援や(55,000部)、北海道スポーツ少年大会参加者のお食事、全道スポーツ少年団競技別交流大会(7種目)のスポーツドリンクなどの提供を行っております。微力ではありますが、これらの支援がスポーツに汗を流す青少年の皆様の一助となれば幸いです。



北海道スポーツ少年団広報

Quality of Life

HOKKAIDO JUNIOR SPORTS CLUBS ASSOCIATION

平成29年7月発行

発行所: 北海道スポーツ少年団本部 宇佐美 暢子 (Hokkaido Junior Sports Clubs Association)
〒052-8572 札幌市豊平区豊平5条11丁目1-1 北海道立総合体育センター内
TEL 011-820-1706 / FAX 011-833-0705
E-mail: hokkaido@japan-sports.or.jp

第39回 全国スポーツ少年団 剣道交流大会

平成29年3月25～27日までの3日間、日本全国から団体戦49チーム、個人戦男女各49名が愛知県名古屋市の愛知県武道館に集結し、第39回全国スポーツ少年団剣道交流大会が開催されました。

団体戦では、札幌市剣道スポーツ少年団選抜A(札幌市)が第3位、森町剣道スポーツ少年団(森町)が敢闘賞、男子個人戦では、濱田公佑くん(猿払村剣道スポーツ少年団)が敢闘賞、北海道から多くの入賞となりました。おめでとうございます!!

第3位!! 札幌市剣道スポーツ少年団選抜A (全国大会出場者)
●団体戦: 濱田公佑くん(監督: 飯後美さん、選手: 若狭雅平くん、村田雄乃さん、五郎雅高くん、野村景さん、井田雄平くん)
●男子個人戦: 濱田公佑くん(札幌市: 猿払村剣道スポーツ少年団) (監督: 高松潤一さん、選手: 阿部太朗くん、清水謙々威さん、板垣大樹くん、三浦菜々美さん、中澤盛隆くん)
●女子個人戦: 関川尚心さん(小樽市: 小樽剣道スポーツ少年団) 今野愛菜さん(釧路市: 釧路心剣道スポーツ少年団)

全道各競技別交流大会 結果

第31回 北海道スポーツ少年団 軟式野球交流大会

平成28年7月25～28日までの4日間、北海道内から16チームが旭川市の旭川スタジアム球場に集まり、第31回北海道スポーツ少年団軟式野球交流大会が開催され、全国大会出場をかけて熱戦が繰り広げられました。

決勝戦は7月28日午後1時から開始。札幌市「手稲ヤングスターズスポーツ少年団」と天塩町「天塩タイガーススポーツ少年団」との決勝となりました。2回、5回、6回と手堅く得点を重ねた手稲ヤングスターズスポーツ少年団が6対0の完封で圧倒的な強さを見せつけて優勝しました。優勝した手稲ヤングスターズスポーツ少年団は平成28年8月5～8日 道真県彦根市で開催された第38回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会に出場しました。

優勝: 手稲ヤングスターズスポーツ少年団(札幌市) 第2位: 天塩タイガーススポーツ少年団(天塩町)

第14回 北海道スポーツ少年団 バレーボール交流大会

平成28年11月19～20日の2日間で本大会が行われ、北海道内から32チーム(男子各16チーム)が集まり、全国大会への切符をかけて熱い戦いが繰り広げられました。男子: 遠別イーグルススポーツ少年団(遠別町)、女子: 江別中央ジュニアバレーボールスポーツ少年団(江別市)が優勝し、平成29年3月25～28日 福井県福井市で開催された第14回全国スポーツ少年団バレーボール交流大会に出場しました。

(優勝インタビュー!!)
遠別イーグルススポーツ少年団 石田 七瀬くん
初めの方は実力があせなかったけど、試合を重ねるにつれて実力を出すことができ満足です。北海道を代表して頑張って優勝していきます。

江別中央ジュニアバレーボールスポーツ少年団 吉岡 まどかさん
サーブレシーブが良く、早いトス回して攻撃もたくさん決まったのでよかったです。夏の全国大会でベスト8だったので、春の全国大会では金メダルを取るように頑張りたいと思います。

大会名	競技結果
第13回北海道スポーツ少年団水泳交流大会 (H28/9/18 飯別市: 健康プール「ステア」)	参加者数: 130名
第40回全日本少年サッカー大会北海道大会 (H28/10/8～10 栗山町: ふじスポーツ広場)	優勝: 北海道コンサドーレ札幌U-12A
第31回北海道スポーツ少年団剣道交流大会 (H28/11/26～27 札幌市: 北海道科学大学体育館)	団体戦優勝: 札幌市剣道スポーツ少年団選抜A 男子個人戦優勝: 濱田公佑 (猿払村剣道スポーツ少年団) 女子個人戦優勝: 関川尚心 (小樽剣道スポーツ少年団)
第39回北海道スポーツ少年団スケート交流大会 (H29/1/20～22 釧路市: 阿寒湖スケートリンク)	参加者数: 185名

ATHLETE

アスリート

北海道コンサドーレ札幌
プロサッカー選手

宮澤 裕樹

(みやざわ ひろき)

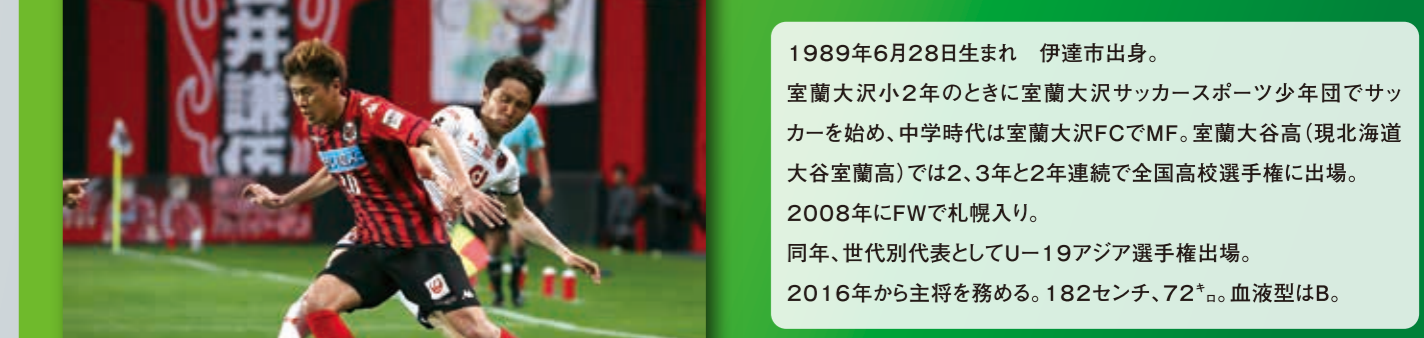


Soccer

プロサッカーの国内最高リーグJ1で、5年ぶりに戦う北海道コンサドーレ札幌。主将としてチームをまとめる宮澤裕樹選手(28)は、伊達市の出身です。5歳上のお兄さんの影響を受けて、室蘭大沢小2年のときに室蘭大沢サッカースポーツ少年団でサッカーを始めました。中学校にはサッカー部がなく、室蘭大沢FCで技術を磨きました。「体を動かすことが好きで、練習をすれば上達していくのが楽しかった」という宮澤選手。プロ入りの夢を叶え、コンサドーレ生え抜きの道産子プレーヤーとして、リーグ優勝を目指しています。

Q「プロ」を意識したのは、いつ頃ですか？
「サッカー選手を目指そうと思ったのは、高校に進学してからです。それまでは、ただ兄よりうまくなりたい一心で、現実的な目標ではありませんでした。中学校では、練習をすれば上達していくのが楽しかった」という宮澤選手。プロ入りの夢を叶え、コンサドーレ生え抜きの道産子プレーヤーとして、リーグ優勝を目指しています。

Q他に得意なスポーツはありましたか？
「小学校のときはドッジボールが好きでした。野球もやりました。集中力がないので、1人でやるスポーツよりも、大勢でやるものの方が得意でしたね。」



1989年6月28日生まれ 伊達市出身。
室蘭大沢小2年のときに室蘭大沢サッカースポーツ少年団でサッカーを始め、中学時代は室蘭大沢FCでMF。室蘭大谷高(現北海道大谷室蘭高)では2、3年と2年連続で全国高校選手権に出場。
2008年にFWで札幌入り。
同年、世代別代表としてU-19アジア選手権出場。
2016年から主将を務める。182センチ、72kg。血液型はB。

Hiroki Miyazawa

平成29年度事業計画

平成29年度全道競技別交流大会の予定 全国大会目指して頑張ってください!!

第32回 北海道スポーツ少年団軟式野球交流大会 H29/7/15~17 旭川市:旭川リムスタジアム	第41回 全日本少年サッカー大会北海道大会 H29/10/7~9 小樽市	第15回 北海道スポーツ少年団バレーボール交流大会 H29/11/18~19 深川市:深川市総合体育館 他
第32回 北海道スポーツ少年団剣道交流大会 H29/11/25~26 札幌市:北海道科学大学体育館	第14回 北海道スポーツ少年団水泳交流大会 H29/11/26 札幌市:平岸プール	第40回 北海道スポーツ少年団スケート交流大会 H30/1/12~14 釧路市:阿寒湖スケートリンク

平成29年度日本スポーツ少年団ジュニア・リーダーズスクール

スポーツ活動やレクリエーションを通して、地域や市町村で活動しているスポーツ少年団リーダーの資質向上を図ることを目的に、毎年道内4会場で開催します。

開催管内	期日	会場
道南(渡島)	調整中	調整中
道央(空知)	H30/1月中旬	調整中
道北(宗谷)	H29/11/3~5	稚内市:稚内市少年自然の家
道東(根室)	H29/8/9~11	標津町:ポー川史跡自然公園

※詳細は各管内スポーツ少年団協議会までお問い合わせください。

平成29年度北海道スポーツ少年団指導者研修会

スポーツ少年団認定指導者に最新の日本スポーツ少年団の動向やスポーツ医学の情報を提供し、認定員等スポーツ少年団指導者の資質向上を目指し、スポーツ少年団の一層の安全な活動と活性化をはかるために認定指導者等の再研修の場として道内4会場で開催します。

今年度開催管内:
檜山(道南)・石狩(道央)・留萌(道北)・釧路(道東)
※詳細は各管内スポーツ少年団協議会までお問い合わせください。

講師:吉田 聡美氏 (スポーツメンタルトレーナー)

平成29年度北海道スポーツ少年団指導者研究協議会

スポーツ少年団指導者の資質・指導方法の向上・充実並びに組織的・統一した指導体制の確立を図るため、スポーツ少年団活動の諸問題について意見交換及び協議を行い、北海道スポーツ少年団の充実・発展に寄与することを目的に開催します。

【期日】平成29年12月2~3日
【会場】北海道立総合体育センター

北海道のスポーツ少年団員たちへのメッセージ

毎日の食事をおいしく食べて健康な生活を送るために、「歯」はとても大切ななくてはならない体の一部です。
食べ物は口に入れてただ飲み込むだけでなく、よく噛んで味わってこそ食事の楽しみが得られます。と同時に、よく噛むことにより唾液がたくさん出てきて食べ物の消化を助けてくれます。結果的に、食べ物の栄養素が体に良く吸収されて私たちの体の一部になったり、体を動かすためのエネルギー源になってくれるのです。
だから丈夫な歯は、健康を守るためにとても大切な役割を担っています。丈夫な歯は健康の維持だけでなく、スポーツをするときの体のバランスを保ったり、筋肉の力を最大限に発揮することに大いに関係しています。
一流のプロスポーツ選手やオリンピック選手たちの歯(歯並び)をしつくり観察してみてください。みなさんともてきれいな歯並びをしていることが分かると思います。オリンピックで金メダリストが表彰台の上で金メダルを前歯で噛むくきをよく見かけます。あれは、「自分は歯がこんなに丈夫だから金メダルを取れたんだよ」と言っているように思います。

西 隆一 先生
北海道歯科医師会会長
日本体育協会公認
スポーツアナリスト

北海道出身・小樽市「西歯科」院長。
趣味は釣り、マラソン。(北海道マラソン/完走20回。
他に東京マラソン、洞爺湖マラソン、千歳国際マラソンを完走。)

第46回 北海道スポーツ少年団大会

平成28年8月9日~11日 2泊3日

【日程表】
北海道内からスポーツ少年団員62名・指導者12名が森町の北海道立青少年体験活動支援施設「ネイバル森」に集まり、第46回北海道スポーツ少年団大会が開催されました。1日目は、荒井昭吾さん(元北海道日本ハムファイターズ選手)によるアスリートプログラムを行いました。2日目は、駒ヶ岳登山。昼食は株式会社セコマ様から協賛いただきましたパンを駒ヶ岳の馬ノ背でいただきました。下山後、外でジンギスカンを食べ、キャンプファイヤーを行いました。3日目は、別班対抗キンボール。たくさん汗をかいた後、地元森町からいただきましたスイカを食べました。3日間とも、いい天気恵まれ、充実した2泊3日となりました。その様子をご報告します!

1日目
13:30~ 開会式・オリエンテーション
14:00~ レクリエーション・班別ミーティング
写真は①、②

15:00~ アスリートプログラム
講師:荒井昭吾氏(元北海道日本ハムファイターズ選手)
写真は③、④、⑤

18:30~ 講義「スポーツ少年団とは/スポーツ少年団のリーダーとは」
講義「北海道スポーツ少年団リーダー会から」
講義「登山についての心構え」
写真は⑥、⑦

19:30~ 班旗作り・班別ミーティング
写真は⑧、⑨

2日目

8:30~ 駒ヶ岳登山
写真は⑩、⑪、⑫、⑬

17:00~ 野外炊飯「ジンギスカン」
写真は⑭、⑮

19:00~ キャンプファイヤー
写真は⑯

●北海道スポーツ少年団大会とは
北海道内の様々な競技の団員が一堂に集まり、スポーツ少年団活動と集団生活を通して心身の鍛錬やリーダーとしての資質の向上を図ることを目的に開催しています。北海道スポーツ少年団の中で一番歴史のある交歓交流大会です。



たくさんの
友達ができ、
最高の3日間と
なりました
(^^)

3日目

8:30~ 別班対抗キンボール
写真は⑰、⑱、⑲

10:30~ 閉会式
写真は⑳

《第47回 北海道スポーツ少年団大会》

平成29年度の北海道スポーツ少年団大会は帯広市で開催されます。普段会えない道内各地の団員たちと交流し、みんなで思い出を作ろう!!皆さまの参加を心よりお待ちしております。

【期日】平成29年7月28~30日 2泊3日
【会場】帯広市児童会館 他(帯広市)
【参加料】2,000円(往復の交通費、宿泊費は北海道スポーツ少年団が補助します。)
【申込方法】所属している管内スポーツ少年団協議会までお申し込みください。
詳細につきましては、管内スポーツ少年団協議会までお問い合わせください。

プログラム内容(予定)
●7月28日(金)
アスリートプログラム
「スケート体験/スポーツから学んだこと」
講師:大宮 小百合氏
(冬季五輪:スピードスケート、夏季五輪:自転車)
別班対抗大運動会

●7月29日(土)
登山「白鳥山・天保山」/
野外炊飯「ジンギスカン」/
ドイツ団との交流(日独スポーツ少年団同時交流)
●7月30日(日)
別班対抗大運動会



《北海道スポーツ少年団リーダー会紹介》

みなさん、こんにちは!北海道スポーツ少年団リーダー会です!!
北海道スポーツ少年団リーダー会は少年団活動を通して、もっと楽しみたい!よくしたい!というような16~22歳の男女が集まって活動しています。リーダー研修会や少年大会、競技別交流大会でピンクや黄色のポロシャツを着ている人を見たことがありませんか?それが私たち北海道スポーツ少年団リーダー会です!!
主に、研修会の企画・運営、各競技別交流大会での司会進行や交歓交流を行っています。他にも普段の学校生活には経験のできない、楽しみながらもタメになる活動がたくさんあります!
そのあなたも、ぜひ北海道スポーツ少年団リーダー会に入会してみませんか?会員はいつでも募集しております!少しでも興味があれば、少年団の先輩や先生に聞いてみてください。たくさんのお会をお待ちしております(^^)!

主な活動内容
○北海道スポーツ少年団大会の企画、運営
○北海道スポーツ少年団リーダー研修会の企画、運営
○ジュニアリーダーズスクールの運営補助
○月に一度の定例会 など...

平成29年度北海道スポーツ少年団リーダー研修会
北海道内のスポーツ少年団の活動で活躍している中・高校生リーダーを一堂に集め、リーダーとしての資質の向上を目指すことを目的に開催しています。本研修会は北海道スポーツ少年団リーダー会が企画および運営を行っています。

【期日】平成29年12月26~27日 1泊2日
【会場】北海道立総合体育センター

☆リーダー会への運営補助などの依頼、入会の問い合わせ先☆ 公益財団法人北海道体育協会 生涯スポーツ課/北海道スポーツ少年団
〒062-8572 札幌市豊平区豊平5条 11丁目 1-1 北海道立総合体育センター内 TEL: 011-820-1706

第43回 日独スポーツ少年団同時交流

【内容】日独スポーツ少年団同時交流は、昭和49年(1974年)から行われている青少年の国際交流事業です。両国の夏休み期間中、スポーツ活動を中心とする民泊を取り入れたグループパートナー方式で、相互の文化・生活・習慣を体験する国際交流です。今回、北海道からは指導者1名、団員4名が派遣され、受入では札幌市・日高町・苫小牧市にて指導者1名、団員6名を受け入れました。

派遣 H28.7.30 ~ 8.16
指導者:藤 睦
団員:武川 祐也 望月 駿 吉村 陸 石井 英輝

ベルリン
人口:3,520,031人 面積:891.85km²
ドイツの首都であり、文化や政治、メディア、科学の世界都市である。

アスレチックパーク/オリンピックスタジアム見学/旧市街散策/シュンパウ城見学/ヴァン湖/国会議事堂見学/ベルリン州議会議事堂見学/ベルリン動物園見学

ディスカッション

アスレチック体験

ブランデンブルク門

どんな人がドイツへ行けるの?

【団員】日本スポーツ少年団シニアリーダー認定者(平成28年度認定見込者を含む)、所定の活動単位取得者(計20単位以上)、北海道スポーツ少年団本部長により特別に推薦され、かつ1993年4月20日~2002年4月1日生まれ(派遣年度に16歳~24歳の誕生日を迎える者)の平成28~29年度登録者。但し、申込多数の場合は、シニアリーダー認定者を優先する。また、これまでに日本派遣として参加実績のある団員についても参加を認める。なお、本人の意向を確認したうえで、当該グループ以外の所属として決定することがある。
【指導者】日本スポーツ少年団有資格指導者(認定育成員・認定員)で、原則として65歳以下の平成28~29年度登録指導者(役員登録者を含む)。今後もスポーツ少年団指導者として活躍できる若手指導者が望ましい。

受入 H28.7.24 ~ 8.9
指導者:ボルヒャート・マンフレッド
団員:フォン・マーザフスキー・ジョイ マーリッヒ・ルイス シムケ・ニーナ エムケ・ヴェレナ パウアー・アンナ・クリスティーナ ハイザー・レア

日高町
人口:12,290人 面積:992.11km²
2006年(平成18年)に当時互いに接していなかった(旧)日高町と門別町の2町が配置合分して現在の「日高町」となった。
競馬場見学/町長表敬訪問/郷土史の学習/北海道日高乳業工場見学/空手道体験/温泉体験/ラフティング体験/BBQパーティー/書道体験/緑日・盆踊り体験/船釣り体験/パークゴルフ体験

苫小牧市
人口:172,601人 面積:561.57km²
北海道工業地域を代表する工業都市・港湾都市。ホッキ貝の漁獲量日本一を誇る。1966年(昭和41年)には日本内初となる「スポーツ都市宣言」をしている。
市長表敬訪問/弓道体験(苫小牧総合経済高等学校)/トヨタ自動車北海道工場見学/ウトナイ湖野生鳥獣保護センター見学/白鳥王子アイスアリーナ見学(アイスホッケー観戦)/支笏湖観光/総合型地域スポーツクラブとのスポーツ交流/アイヌ民族博物館見学/登別伊達時代村見学/温泉体験

